

事務事業評価調書

事務事業名	原爆被爆者支援活動補助事業				
担当部名	健康医療部	室課名	地域医療推進室	室課長名	山本 重喜

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成13年度	改正 内容	補助対象経費											
(2) 直近の改正	平成16年度													
(3) 根拠法令等	吹田市地域福祉推進活動補助金等交付要領													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	03 健康で安心して暮らせるまちづくり	節	04	細節	10								
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	吹田市原爆被害者の会											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	原子爆弾被爆者支援活動に要する経費に対して補助金を交付し、活動を支援する。												
(7) 事業概要	原子爆弾被爆者に対する相談活動、被爆者の生活支援に係る広報活動、被爆者健康診断の援助活動など原子爆弾被爆者支援活動の推進に要する経費の支出額に対して、16万円を限度として補助する。													
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	03	項	01	目	02	大事業	03	中事業	01	小事業	01
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		160	160	160	160	160							
	人件費	職員数	人	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10						
		総額(B)	千円	836	804	817	790	806						
	総事業費(A+B)		996	964	977	950	966							
	特定財源(C)		0	0	0	0	0							
	(内訳)	国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
	市負担(D)		996	964	977	950	966							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		996	964	977	950	966								
財源計(C+D)		996	964	977	950	966								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①	吹田市原爆被害者の会											
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合を示す	①	活動内容	原爆被害者の会の活動に対し補助する。			目標	原子爆弾被爆者支援活動を支援し、福祉の増進を図る。
	②	成果内容	原爆被害者の会の活動として、原子爆弾被爆者に対する相談活動、生活支援に係る広報活動、健康診断の援助活動が実施された。			達成状況	原子爆弾被爆者の高齢化により健康不安等の諸問題が増加する中、相談活動等の支援は被爆者にとって重要である。
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		被爆から70年以上が経過し、原子爆弾被爆者の高齢化に伴う健康不安などの諸問題が発生しており、今後も被爆者の健康の保持と福祉の増進を図っていくことが求められる。今後も被爆者の相互支援を目的とした吹田市原爆被害者の会の活動に補助することで、身近な相談・支援体制を確保していくことが必要である。				

事務事業分析シート

所属名	地域医療推進室	事業名	原爆被爆者支援活動補助事業	事業区分	その他
事務事業番号	00337				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	12	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 c. 市民ニーズは低下している。又は市民ニーズを把握できていない(1点)	1	点
(2) 有効性 (20点)	14	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	12	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 c. 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない。(1点)	1	点
(4) 公平性 (20点)	16	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	68	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	地域医療推進室	事務事業番号	00337
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他												
(2)各視点からの評価結果	<table border="1"> <caption>各視点からの評価結果 (Radar Chart Data)</caption> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>評価結果 (点数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妥当性</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>持続可能性</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table>			視点	評価結果 (点数)	妥当性	12	有効性	10	効率性	8	公平性	10	持続可能性	10
視点	評価結果 (点数)														
妥当性	12														
有効性	10														
効率性	8														
公平性	10														
持続可能性	10														
(3)現状分析	<p>交付団体である吹田市原爆被害者の会は、毎週、市役所で原爆被害者に対する相談活動を実施し、被爆被害に関する相談のほか、相互に情報交換を行う場としての役割も担っている。また、被爆者の生活支援に係る広報活動として、会報「すいせん」を年2回発行し、春と秋には、市内医療機関にて被爆者健康診断受診時の援助活動も行っている。以上の被爆者支援に関する活動のほかにも、被爆の凄惨な体験を現代に伝え、核兵器の根絶と世界平和実現に向けた役割も果たしているが、被爆から70年以上経過し、被爆者自身の高齢化が進み、健康に対する不安も年々増大してきているため、個別の相談や支援体制が今後必要となる。</p>														

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	原爆被爆者診療等旅費補助事業				
担当部名	健康医療部	室課名	地域医療推進室	室課長名	山本 重喜

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和48年度	改正内容	補助対象経費、補助金額、補助対象施設の見直し														
(2) 直近の改正	平成24年度																
(3) 根拠法令等	吹田市原子爆弾被爆者の診療等の受診に係る旅費補助金交付要綱																
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)														
	一部にチェックした場合はその説明																
(5) 総合計画の体系	章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	04	細節	10										
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他												
	範囲等	吹田市に引き続き一年以上居住する原子爆弾被爆者															
	目標 (どういう状態にしたいのか)	原子爆弾被爆者の健康回復、保持のために原爆病院等での診療及び健康診断に要する旅費を補助する。															
	結果 (どのような効果が得られるのか)	原子爆弾被爆者の健康回復、保持が図られる。															
(7) 事業概要	市長が指定する原爆病院等での診療及び健康診断を受ける者に対して、その旅費の一部を一人21,000円を上限として補助する。																
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	03	項	01	目	02	大	事業	04	中	事業	01	小	事業	01
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)										
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)										
	事業費(A)		525	0	420	0	420										
	人件費	職員数	0.10	0.00	0.10	0.00	0.01										
		総額(B)	836	0	817	0	81										
	総事業費(A+B)		1,361	0	1,237	0	501										
	(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0	0									
		国		0	0	0	0	0									
		府		0	0	0	0	0									
		その他		0	0	0	0	0									
	(内訳)	市負担(D)		1,361	0	1,237	0	501									
		地方債		0	0	0	0	0									
		その他		0	0	0	0	0									
		一般財源		1,361	0	1,237	0	501									
財源計(C+D)		1,361	0	1,237	0	501											
(10) (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施																
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①														
			②														
			③														
	主な委託内容																
	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①	原子爆弾被爆者													
②																	
③																	
<input type="checkbox"/> その他		内容															

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	診療等旅費補助交付人数	目標値	(単位:人)	25.00	20.00	20.00	
			実績値	(単位:人)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法	予算積算人数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	/
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	/	
一般財源(単位:千円)				0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	/	
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	/	
一般財源(単位:千円)				0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容	本事業により原子爆弾被爆者の健康管理を目的とした専門機関の受診につながる。			達成状況	被爆者の高齢化に伴う健康不安が増す中、被爆者の健康回復、保持が図られている。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		平成23年度に行政の維新プロジェクトとして取り組んでいる事業見直しの実施方針に基づき、見直し対象事業として検討した結果、他の府内の特例市では実施されていない事業ではあるが、原子爆弾の放射能に起因する健康被害に苦しむ被爆者の健康回復、保持を図る趣旨に鑑み、事業内容を見直したうえで継続することとなった。ただ近年においては申請がないため、本事業の今後の在り方については、検討の必要があると考える。					

事務事業分析シート

所属名	地域医療推進室	事業名	原爆被爆者診療等旅費補助事業	事業区分	その他
事務事業番号	00338				

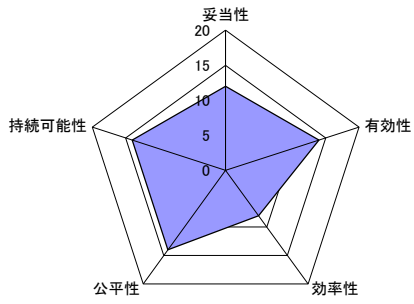
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	12	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 c. 市民ニーズは低下している。又は市民ニーズを把握できていない(1点)	1	点
(2) 有効性 (20点)	14	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	8	①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 c. 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない。(1点)	1	点
(4) 公平性 (20点)	14	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 b. 受益者負担を求めているが、見直しを検討する余地がある。(3点)	3	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	62	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	地域医療推進室	事務事業番号	00338
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>当該事業は、吹田市内に一年以上居住している原爆被爆者が、健康の回復・保持を目的に市長が指定する広島・長崎にある原爆病院等での診療及び健康診断を受けた場合に、旅費の一部を補助している。専門病院での診療・健康診断を受診することで、原爆被爆者の健康の増進・保持を図ることができる。ただ、近年においては、申請がないため、本事業の今後のあり方について検討の必要があると考える。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	原爆被爆者二世支援事業				
担当部名	健康医療部	室課名	地域医療推進室	室課長名	山本 重喜

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成13年度	改正内容	医療費助成受給のための所得要件の変更											
(2) 直近の改正	平成24年度													
(3) 根拠法令等	吹田市被爆者二世医療費助成金支給要綱													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	04	細節	10							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	範囲等	市内に居住する原子爆弾被爆者の二世												
	目標 (どういう状態にしたいのか)	健康診査の受診機会の確保及び原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律施行規則第51条に定める障害を伴う疾病と同様の疾病に対する医療費(自己負担額)を助成する。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	原子爆弾被爆者二世の健康の保持及び福祉の増進が図られる。												
(7) 事業概要	市内に居住する原子爆弾被爆者二世に対し、国が実施する健康診査の定員枠外となり受診できない者への健康診査を補完する。その他、原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律施行規則第51条に定める障害を伴う疾病と同様の疾病についての医療費の自己負担額を助成する。(市民税非課税世帯に属するものが対象)													
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	03	項	01	目	02	大事業	05	中事業	01	小事業	01
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		1,579	1,428	1,579	1,471	1,579							
	人件費	職員数	人	0.20	0.20	0.20	0.30	0.20						
		総額(B)	千円	1,671	1,608	1,634	2,370	1,611						
	総事業費(A+B)		3,250	3,036	3,213	3,841	3,190							
	特定財源(C)		0	0	0	0	0							
	(内訳)	国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
	市負担(D)		3,250	3,036	3,213	3,841	3,190							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		3,250	3,036	3,213	3,841	3,190								
財源計(C+D)		3,250	3,036	3,213	3,841	3,190								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	医療費助成の申請者数(重複なし)	目標値	(単位:人)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:人)	12.00	15.00		
		達成度(%)		0.0	0.0			
	目標値の積算方法	医療機関で受診した対象者からの申請を受けて交付するものであるため、目標値の設定は不可能である。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		253.00	261.47	
				一般財源(単位:千円)		253.00	261.47	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)		0.0	0.0					
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
		達成度(%)		0.0	0.0			
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00		0.00
				一般財源(単位:千円)		0.00		0.00
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00		/
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)		0.0	0.0					
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
(3) が困難な場合を示す	①	活動内容				目標		
	②	成果内容	医療費が助成されることにより原子爆弾被爆者二世は安心して医療を受けることができ、健康回復・保持につながる。			達成状況	助成対象者からの申請は変わらずにあり、原子爆弾被爆者二世の健康に関する不安を軽減する効果は大きいといえる。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		平成23年度に行政の維新プロジェクトとして取り組んでいる事業見直しの実施方針に基づき、見直し対象事業として検討した結果、他の府内の特例市では実施されていない事業ではあるが、原子爆弾被爆者二世の健康保持と福祉の増進を図るという趣旨を考慮し、事業内容を見直したうえで継続することとなった。原子爆弾被爆者二世に対しての国の支援は、大阪府吹田保健所で実施している年1回の健康診断のみだが、被爆から70年以上の歳月が経過し、原子爆弾被爆者二世についても高齢化が進み、健康に対する不安が今後問題視されていくことが考えられるため、引き続き実施していくことが必要である。					

事務事業分析シート

所属名	地域医療推進室	事業名	原爆被爆者二世支援事業	事業区分	その他
事務事業番号	00339				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	10	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 c. 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない。(1点)	1	点
(4) 公平性 (20点)	16	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	10	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 c. 事業費、市負担とも増大し、それに見合う財源の確保も見込めない。(1点)	1	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	68	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	地域医療推進室	事務事業番号	00339
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他												
(2)各視点からの評価結果	<table border="1"> <caption>各視点からの評価結果 (Radar Chart Data)</caption> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>評価結果 (点数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妥当性</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>持続可能性</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>			視点	評価結果 (点数)	妥当性	15	有効性	10	効率性	5	公平性	5	持続可能性	5
視点	評価結果 (点数)														
妥当性	15														
有効性	10														
効率性	5														
公平性	5														
持続可能性	5														
(3)現状分析	<p>平成28年度において被爆者二世の登録者数は262人、医療費助成延利用件数は140件となっている。制度発足以降、被爆者二世の登録者数、医療費助成件数、医療費助成額は増加したが、平成23年度に行った事業の見直しの中で、対象者の所得要件の変更を行った結果、制度の適正化が図られ、医療費助成件数、医療費助成額は減少したが、対象者の高齢化や医療費が高額になる対象者の増加などから件数、助成額とも増加傾向にある。</p>														

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	公害認定審査事業				
担当部名	健康医療部	室課名	地域医療推進室	室課長名	山本 重喜

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	昭和49年度	改正 内容	委員定数を「15人以内」から「13人以内」に変更											
(2)	直近の改正	平成25年度													
(3)	根拠法令等	公害健康被害の補償等に関する法律													
(4)	市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	05	環境を守り育てるまちづくり	節	01	細節	15							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
		範囲等	法により認定された公害健康被害被認定者等												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	認定更新申請や各種補償給付の請求に係る審査を行う。												
		結果 (どのような効果が得られるのか)	公害健康被害被認定者等の迅速かつ公正な保護及び健康の確保を図る。												
(7)	事業概要	市長からの諮問に応じて公害健康被害認定審査会を開催し、公害健康被害被認定者等の認定更新申請や各種補償給付の請求に係る審査を行うものである。													
(8)	H28事業別 予算コード	会計	01	款	04	項	01	目	10	大事業	03	中事業	01	小事業	01
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		6,704	6,111	9,071	8,409	6,659							
		人件費	職員数	人	0.95	0.95	1.00	1.00	0.95						
			総額(B)	千円	7,935	7,638	8,170	7,900	7,650						
		総事業費(A+B)		14,639	13,749	17,241	16,309	14,309							
		特定財源(C)		6,704	5,093	9,071	7,315	6,659							
		(内訳)	国	6,704	5,093	8,350	6,894	6,659							
			府	0	0	0	0	0							
			その他	0	0	721	421	0							
		市負担(D)		7,935	8,656	8,170	8,994	7,650							
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
			その他	0	0	0	0	0							
			一般財源	7,935	8,656	8,170	8,994	7,650							
財源計(C+D)		14,639	13,749	17,241	16,309	14,309									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
		<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①											
②															
③															
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	開催回数	目標値	(単位:件)	11.00	11.00	11.00
			実績値	(単位:件)	11.00	11.00	/	
		達成度(%)			100.0	100.0		
	目標値の積算方法	毎月(8月を除く)、1回開催	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		1,249.91		1,507.18
				一般財源(単位:千円)		786.91	842.18	
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	/	
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00		0.00
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) 困難な場合		①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00	/	
	達成度(%)			0.0	0.0			
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00		0.00
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00	/		
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
①	活動内容				目標			
	②	成果内容	公害健康被害被認定者の迅速かつ公正な保護及び健康の確保につながっている。			達成状況	実績の把握が困難なため、達成状況は把握できないが、被認定者の迅速かつ公正な保護などに一定程度寄与していると考え。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		本事業については法律によって市が事務を処理することが義務付けられているため、今後も継続して実施していくべき事業であると考え。					

事務事業分析シート

所属名	地域医療推進室	事業名	公害認定審査事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00342				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	14	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
(4) 公平性 (20点)	0	②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
		評価点合計 (100点満点)	80	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	地域医療推進室	事務事業番号	00342
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>本事業については、市長からの諮問に応じて公害健康被害認定審査会を開催し、大気汚染の影響による健康被害に係る損害を填補するために法により認定された公害健康被害被認定者等に対して、認定更新申請や各種補償給付の請求に係る審査を行うもので、法律によって市が事務を処理することが義務付けられているため、今後も継続して実施していくべき事業であると考えます。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	公害診療報酬審査事業				
担当部名	健康医療部	室課名	地域医療推進室	室課長名	山本 重喜

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	昭和49年度	改正 内容	行政経営部企画政策室から示された「附属機関等の見直しに関する基本的な考え方」に基づき、公害診療報酬審査委員会の位置付けを意見聴取を目的とする懇談会等に改めた。											
(2)	直近の改正	平成24年度													
(3)	根拠法令等	公害健康被害の補償等に関する法律													
(4)	市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	05	環境を守り育てるまちづくり	節	01	細節	15							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
		範囲等	公害健康被害被認定者に対して療養の給付を担当した公害医療機関等												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	公害診療報酬等の請求に係る審査を行い、適正と認められた診療内容等に対して報酬を支払う。												
		結果 (どのような効果が得られるのか)	公害健康被害被認定者の迅速かつ公正な保護及び健康の増進を図る。												
(7)	事業概要	市長からの諮問に応じて、月に一度公害診療報酬審査委員会を開催し、法により認定された公害健康被害被認定者に対して療養の給付を担当した公害医療機関等からの公害診療報酬等の請求に係る診療内容等を審査するものである。													
(8)	H28事業別 予算コード	会計	01	款	04	項	01	目	10	大事業	03	中事業	02	小事業	01
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		790	769	1,434	1,068	1,363							
		人件費	職員数	人	0.50	0.50	0.45	0.45	0.50						
			総額(B)	千円	4,176	4,020	3,677	3,556	4,026						
		総事業費(A+B)		4,966	4,789	5,111	4,624	5,389							
		特定財源(C)		790	641	1,434	922	1,363							
		(内訳)	国		790	641	1,434	922	1,363						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
		市負担(D)		4,176	4,148	3,677	3,702	4,026							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
			一般財源		4,176	4,148	3,677	3,702	4,026						
財源計(C+D)		4,966	4,789	5,111	4,624	5,389									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
		<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①											
②															
③															
<input type="checkbox"/> その他		内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容	開催回数	目標値 (単位:件)	12.00	12.00	/
			実績値 (単位:件)	12.00	12.00		
		達成度(%)		100.0	100.0		
	目標値の積算方法	毎月1回開催	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	399.08	395.42	
				一般財源(単位:千円)	345.67	318.58	
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値 (単位:)	0.00	0.00	
実績値 (単位:)				0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
(3) が困難な場合を示す		①	指標内容	目標値 (単位:)	0.00	0.00	/
	実績値 (単位:)			0.00	0.00		
	達成度(%)		0.0	0.0			
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
	②	指標内容	目標値 (単位:)	0.00	0.00	/	
実績値 (単位:)			0.00	0.00			
達成度(%)		0.0	0.0				
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
①	活動内容				目標		
	②	成果内容	公害健康被害被認定者の迅速かつ公正な保護及び健康の確保につながっている。			達成状況	実績の把握が困難なため、達成状況は把握できないが、被認定者の迅速かつ公正な保護などに一定程度寄与していると考えられる。
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		<p>本事業については法律によって市が事務を処理することが義務付けられているため、今後も継続して実施していくべき事業であると考えられる。</p> <p>ただし、平成26年度に実施された環境省指導監査において、公害診療報酬審査委員会で審査する公害診療報酬明細書、公害調剤報酬明細書、公害訪問看護報酬明細書の点検業務を市職員で行っていることに対して、非常に珍しい事例であり、通常は医療事務を行う業者に委託している場合がほとんどであるとの意見があった。これを受けて、業務のあり方について検討した結果、職員の経験知頼みで点検業務を行うことは適切ではないとの結論に至り、平成28年度から点検業務を業務委託している。</p>				

事務事業分析シート

所属名	地域医療推進室	事業名	公害診療報酬審査事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00343				

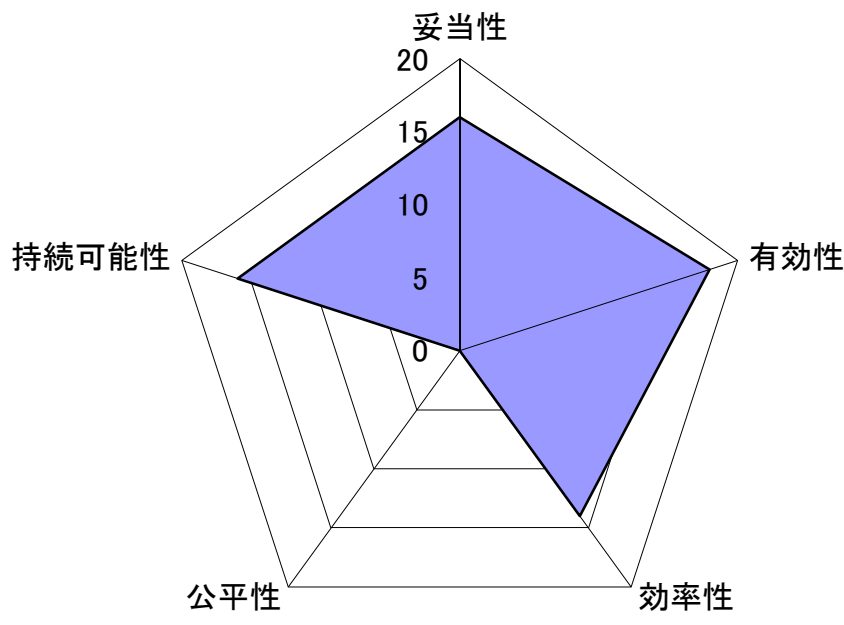
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	14	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
(4) 公平性 (20点)	0	②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
		評価点合計 (100点満点)	80	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	地域医療推進室	事務事業番号	00343
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>本事業については、市長からの諮問に応じて月に一度公害診療報酬審査委員会を開催し、法により認定された公害健康被害被認定者に対して療養の給付を担当した公害医療機関等からの公害診療報酬等の請求に係る診療内容等を審査するもので、法律によって市が事務を処理することが義務付けられているため、今後も継続して実施していくべき事業であると考えます。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	補償給付事業				
担当部名	健康医療部	室課名	地域医療推進室	室課長名	山本 重喜

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	昭和49年度	改正内容	補償給付額の改正											
(2)	直近の改正	平成28年度													
(3)	根拠法令等	公害健康被害の補償等に関する法律													
(4)	市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	05	環境を守り育てるまちづくり	節	01	細節	15							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	法により認定された公害健康被害被認定者等												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	大気汚染の影響による健康被害に係る損害を填補するための補償を行う。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	法により認定された公害健康被害被認定者等の迅速かつ公正な保護及び健康の確保を図る。													
(7)	事業概要	法により認定された公害健康被害被認定者に対して、大気汚染の影響による健康被害に係る損害を填補するための補償として、障害補償費・療養手当の支給、療養の給付を行う。 また、法により認定された公害健康被害被認定者が指定疾病に起因して死亡した場合、その一定範囲の遺族に対して、遺族補償費、遺族補償一時金、葬祭料の支給を行うものである。													
(8)	H28事業別 予算コード	会計	01	款	04	項	01	目	10	大事業	03	中事業	03	小事業	01
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		339,067	281,894	326,683	263,037	322,383							
		人件費	職員数	人	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50						
			総額(B)	千円	4,176	4,020	4,085	3,950	4,026						
		総事業費(A+B)		343,243	285,914	330,768	266,987	326,409							
		特定財源(C)		339,067	281,894	326,683	263,037	322,383							
		(内訳)	国	0	0	0	0	0							
			府	0	0	0	0	0							
			その他	339,067	281,894	326,683	263,037	322,383							
		市負担(D)		4,176	4,020	4,085	3,950	4,026							
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
			その他	0	0	0	0	0							
一般財源	4,176		4,020	4,085	3,950	4,026									
財源計(C+D)		343,243	285,914	330,768	266,987	326,409									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 補償給付支給件数	目標値	(単位:件)	0.00	0.00	/	
			実績値	(単位:件)	5,942.00	5,732.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法 法定受託事務のため、目標の設定になじまないと考える。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	48.12	46.60			
			一般財源(単位:千円)	0.68	0.71			
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00		/
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00				
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00				
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00		/
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00				
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00				
(3) が困難な場合を示す	①	活動内容				目標		
	②	成果内容	公害健康被害被認定者の救済につながっている。			達成状況	実績の把握が困難なため、達成状況は把握できないが、被認定者の病状・保持及び増進に一定程度寄与していると考ええる。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		公害健康被害被認定者の権利を守るとともに事務効率の改善に努めていきたいと考えており、本事業については法律によって市が事務を処理することが義務付けられているため、今後も継続して実施していくべき事業であると考ええる。					

事務事業分析シート

所属名	地域医療推進室	事業名	補償給付事業	事業区分	その他
事務事業番号	00344				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	82	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	地域医療推進室	事務事業番号	00344
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>公害健康被害の補償等に関する法律が施行されてから年月が経ち、現在、公害健康被害被認定者の高齢化が進んでいる。 そのため、補償給付制度に関する各種手続き等について、より一層、分かりやすく周知していくことで、公害健康被害被認定者の権利を守るとともに事務効率の改善に努めていきたい。 また、本事業については法律によって市が事務を処理することが義務付けられているため、今後も継続して実施していくべき事業であると考えます。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	医療費助成支給事業				
担当部名	健康医療部	室課名	地域医療推進室	室課長名	山本 重喜

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	昭和63年度	改正 内容	要綱の廃止(廃止前に認定を受けた者については、有効期間満了までの間、経過措置あり)											
(2)	直近の改正	平成24年度													
(3)	根拠法令等	吹田市大気汚染に係る特定疾病患者に対する医療費の助成に関する要綱													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	05	環境を守り育てるまちづくり	節	01	細節	15							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	要綱により認定された大気汚染に係る特定疾病患者												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	医療費の一部を助成する。												
		結果 (どのような効果が得られるのか)	要綱により認定された大気汚染に係る特定疾病患者の健康の保持及び福祉の増進を図る。												
(7)	事業概要	本市南部地域の大气汚染のより一層の改善が図られるまでの間、要綱により認定された大気汚染に係る特定疾病患者に対し、医療費の一部を助成する。助成額は、認定された指定疾病について受けた医療の自己負担すべき額とする。													
(8)	H28事業別 予算コード	会計	01	款	04	項	01	目	10	大事業	04	中事業	01	小事業	01
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		216	113	149	0	149							
		人件費	職員数	人	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01						
			総額(B)	千円	84	81	82	80	81						
		総事業費(A+B)		300	194	231	80	230							
		特定財源(C)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
		市負担(D)		300	194	231	80	230							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
一般財源			300	194	231	80	230								
財源計(C+D)		300	194	231	80	230									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	医療費の支払い件数	目標値	(単位:件)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:件)	7.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	申請を受けて処理するものであり、目標値の設定にはなじまないと考える。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	27.71	0.00	
				一般財源(単位:千円)	27.71	0.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) が 困難な場合を示す	①	活動内容				目標	
	②	成果内容	要綱により認定された大気汚染に係る特定疾病患者の健康の保持及び増進につながっている。			達成状況	実績の把握が困難なため、達成状況は把握できないが、患者の病状の回復・保持及び増進に一定程度寄与していると考えられる。
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		本事業については、医療費助成認定審査事業(平成25年度にて廃止)において平成25年3月末をもって新規・更新申請の受付を終了し、最終認定満了日を平成27年3月31日と定めたもので、それ以後は医療機関等からの請求遅れに対応できるよう診療報酬請求の時効にならって3年の支払い対応期間満了後の平成29年度で廃止するものである。				

事務事業分析シート

所属名	地域医療推進室	事業名	医療費助成支給事業	事業区分	その他
事務事業番号	00345				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	10	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 c. 施策の推進にはあまり効果がない事業である。(1点)	1	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 c. 実施意義は薄れてきている。(1点)	1	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	12	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	10	①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	8	①サービスの対象範囲は適正ですか。 c. 特定の者を対象としており、受益者以外の市民から見て、理解が得られにくい。(1点)	1	点
		②サービスの水準は適正ですか。 c. サービスの水準が高いが、受益者以外の市民には理解が得られにくい。(1点)	1	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 c. 受益者負担を求めておらず、検討する必要がある。(1点)	1	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	54	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	地域医療推進室	事務事業番号	00345
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>本事業については、医療費助成認定審査事業(平成25年度にて廃止)において平成25年3月末をもって新規・更新申請の受付を終了し、最終認定満了日を平成27年3月31日と定めたもので、それ以降は医療機関等からの請求遅れに対応できるよう診療報酬請求の時効にならって3年の支払い対応期間満了後の平成29年度で廃止するものである。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	家庭療養指導事業				
担当部名	健康医療部	室課名	地域医療推進室	室課長名	山本 重喜

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	昭和50年度	改正 内容	訪問対象者地域を市内旧第一種地域(旧公害指定地域)から市内全域に変更											
(2)	直近の改正	平成24年度													
(3)	根拠法令等	公害健康被害の補償等に関する法律													
(4)	市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input checked="" type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明		法定受託事務であるが、事業実施について自治体を選択権がある。											
(5)	総合計画の体系	章	05	環境を守り育てるまちづくり	節	01	細節	15							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	法により認定された公害健康被害被認定者(市内在住者)												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	保健師等が家庭訪問を行い、法により認定された公害健康被害被認定者が各々の病状について理解を深め、適切な治療や環境整備等を行えるよう助言する。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	法により認定された公害健康被害被認定者の病状回復の促進を図る。													
(7)	事業概要	法により認定された公害健康被害被認定者に対し、保健師等が家庭訪問を行い、日常生活指導や保健指導等を実施するものである。													
(8)	H28事業別 予算コード	会計	01	款	04	項	01	目	11	大事業	02	中事業	01	小事業	01
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		1,402	931	1,272	933	1,271							
		人件費	職員数	人	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01						
			総額(B)	千円	84	81	82	80	81						
		総事業費(A+B)		1,486	1,012	1,354	1,013	1,352							
		特定財源(C)		690	503	677	638	714							
		(内訳)	国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		690	503	677	638	714						
		市負担(D)		796	509	677	375	638							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
一般財源			796	509	677	375	638								
財源計(C+D)		1,486	1,012	1,354	1,013	1,352									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
		<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①											
②															
③															
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	訪問指導件数	目標値	(単位:件)	208.00	195.00	190.00
			実績値	(単位:件)	149.00	174.00	/	
		達成度(%)			71.6	89.2		
	目標値の積算方法	年度当初、市内在住の被認定者数×在宅率(80/100)×2回	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		6.79		5.83
				一般財源(単位:千円)		3.42	2.17	
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	/	
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00		0.00
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) が困難な場合を示す		①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00	/	
	達成度(%)			0.0	0.0			
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00		0.00
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00	/		
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00		0.00	
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
①	活動内容				目標			
	②	成果内容	公害健康被害被認定者の高齢化が進んでおり、個々の病状においては、認定疾病だけでなく他疾病の併発等も認められ、保健師等が指導を行うだけでなく被認定者からの積極的な相談も見られる。			達成状況	適切な保健指導等を行うことにより、被認定者の病状回復・保持に一定程度寄与していると考えられる。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定		
	評価の説明	本事業については、保健師等が公害健康被害被認定者各々の病状や治療状況、生活状況に応じ、個別にきめ細やかな保健指導を行い、健康の保持、回復及び増進を図っており、公害保健福祉事業において最も重要な事業であるため、継続と評価する。						

事務事業分析シート

所属名	地域医療推進室	事業名	家庭療養指導事業	事業区分	その他
事務事業番号	00346				

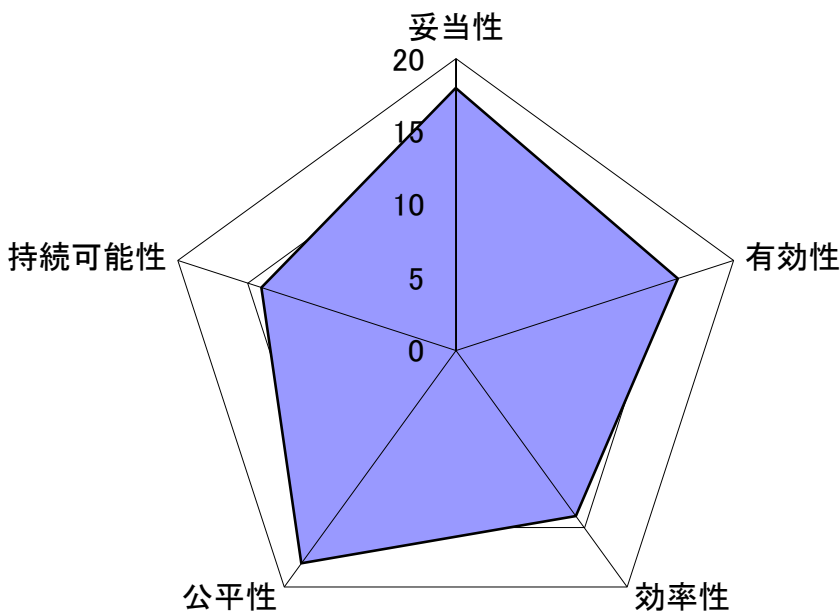
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	80	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	地域医療推進室	事務事業番号	00346
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>公害健康被害被認定者(以下、被認定者)によって、認定疾病との付き合いは長年に及ぶものなので、被認定者は各自の病状について十分な知識を有していると考えられがちである。</p> <p>しかし、以前と比べて薬剤の進歩等により治療方法も変化してきている中で、誤った理解をしていたり、理解していても日常生活に適切に反映できていないケースが認められる。</p> <p>また、被認定者の高齢化が進んでおり、認定疾病以外の疾患の併発等も多くなっていることが認定審査会や公害レセプト等からも確認でき、ますます病状の回復が困難なものとなる傾向にある。</p> <p>こうした状況のもとで、本事業については、保健師等が被認定者宅を訪問し、各個人ごとの病状や治療、生活状況に応じて、細やかな保健指導を行うことができ、公害保健福祉事業において非常に重要な事業となっている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	インフルエンザ予防接種費用助成事業				
担当部名	健康医療部	室課名	地域医療推進室	室課長名	山本 重喜

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成19年度	改正内容	季節性、新型を問わず、又、予防接種法(昭和23年法律68号)に基づく定期予防接種であるか否かを問わず、全てのワクチンで65歳以上という年齢制限を撤廃し、公害健康被害被認定者全員が対象となる。											
(2)	直近の改正	平成23年度													
(3)	根拠法令等	公害健康被害の補償等に関する法律													
(4)	市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部		<input checked="" type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)		<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)									
		一部にチェックした場合はその説明		法定受託事務であるが、事業実施については自治体を選択権がある。											
(5)	総合計画の体系	章	05	環境を守り育てるまちづくり	節	01	細節	15							
(6)	目的	対象(誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	法により認定された公害健康被害被認定者のうち、一定要件を満たした者												
		目標(どういう状態にしたいのか)	インフルエンザに係る予防接種において自己負担する費用を助成することで、法により認定された公害健康被害被認定者の予防接種を促す。												
	結果(どのような効果が得られるのか)	法により認定された公害健康被害被認定者の健康の保持を図る。													
(7)	事業概要	季節性、新型を問わず、又、予防接種法(昭和23年法律第68号)に基づく定期予防接種であるか否かを問わず、インフルエンザに係る予防接種を指定期間内に受けた公害健康被害被認定者に対して、予防接種に係る費用の自己負担分を助成するものである。													
(8)	H28事業別予算コード	会計	01	款	04	項	01	目	11	大事業	03	中事業	01	小事業	01
(9)	事業費と財源の内訳	項目		平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)		平成29年度(2017年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		314	204	297	221	288							
		人件費	職員数	人	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01					
			総額(B)	千円	84	81	82	80	81						
		総事業費(A+B)		398	285	379	301	369							
		特定財源(C)		236	153	222	166	215							
		(内訳)	国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		236	153	222	166	215						
		市負担(D)		162	132	157	135	154							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
一般財源			162	132	157	135	154								
財源計(C+D)		398	285	379	301	369									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 予防接種を受けた対象者数	目標値	(単位:人)	191.00	184.00	180.00	
			実績値	(単位:人)	78.00	82.00		
			達成度(%)		40.8	44.6		
	目標値の積算方法	対象者数 (本事業の対象とならない生活保護世帯者数及び市民税非課税世帯者数を含む。)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		3.65	3.70	
				一般財源(単位:千円)		1.69	1.67	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)		0.0	0.0					
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
	一般財源(単位:千円)				0.00	0.00		
(3) の3が困難な場合を示す	①	活動内容				目標		
	②	成果内容	インフルエンザへの罹患を防ぐことで、呼吸器疾患が増悪する要因を減らし、健康の保持につながっている。			達成状況	未接種者は少なくなく、改善の余地があるが、予防接種を受けた者については、一定程度、健康の保持に寄与していると考えられる。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		本事業については、公害健康被害被認定者の健康の保持を目的とし、その実施意義は大きく、今後も継続して実施していくべき事業であると評価する。					

事務事業分析シート

所属名	地域医療推進室	事業名	インフルエンザ予防接種費用助成事業	事業区分	その他
事務事業番号	00347				

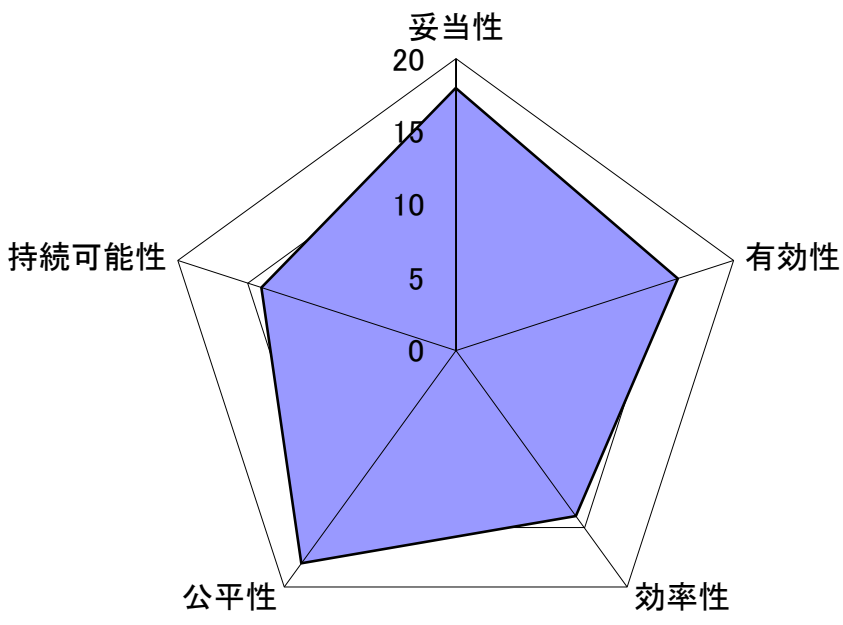
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点		
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点		
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1	点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点		
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点		
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点		
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点		
評価点合計 (100点満点)	80	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	地域医療推進室	事務事業番号	00347
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>公害健康被害被認定者(以下、被認定者)をはじめとする呼吸器疾患を抱える者は、インフルエンザに罹患すると病状の重篤化を招きやすいとされており、被認定者の健康の保持に努めようとする本事業の実施意義はとても大きなものがあると思われる。</p> <p>ただし、まだまだ予防接種を受けない被認定者も多いことから、インフルエンザ罹患による認定疾病への悪影響と予防接種の重要性について、家庭療養指導事業による訪問時の呼びかけや事業案内等で、今後も強く訴えていき、接種率の向上に努める必要があると考える。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	おおさか・すいたハウス支援事業				
担当部名	健康医療部	室課名	地域医療推進室	室課長名	山本 重喜

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成18年度	改正内容	平成28年4月1日の機構改革に伴う、所管課の名称等の変更											
(2) 直近の改正	平成28年度													
(3) 根拠法令等	吹田市おおさか・すいたハウス運営事業補助金交付要領													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	06	細節	30							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	範囲等	公益財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパン												
	目標 (どういう状態にしたいのか)	難病児とその家族等を支援する極めて社会貢献度の高い施設である「おおさか・すいたハウス」の運営に対し支援することで、本市の地域医療の充実を図る。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	福祉行政の増進と医療環境の充実												
(7) 事業概要	遠隔地から国立循環器病研究センターに通院・入院している小児患者とその付き添い家族が滞在する施設である「おおさか・すいたハウス」の運営に対して支援する。													
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	03	項	01	目	01	大事業	06	中事業	01	小事業	01
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		2,654	2,654	2,654	2,646	2,646							
	人件費	職員数	人	0.05	0.05	0.20	0.20							
		総額(B)	千円	418	402	1,634	1,580							
	総事業費(A+B)		3,072	3,056	4,288	4,226	3,452							
	特定財源(C)		0	0	0	0	0							
	(内訳)	国		0	0	0	0							
		府		0	0	0	0							
		その他		0	0	0	0							
	市負担(D)		3,072	3,056	4,288	4,226	3,452							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0							
		その他		0	0	0	0							
一般財源		3,072	3,056	4,288	4,226	3,452								
財源計(C+D)		3,072	3,056	4,288	4,226	3,452								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①	公益財団法人ドナルド・マクドナルドハウス										
②														
③														
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	部屋稼働率	目標値	(単位:%)	100.00	100.00	100.00
			実績値	(単位:%)	79.07	80.45		
		達成度(%)		79.1	80.5			
	目標値の積算方法	最大値	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		38.65	53.20	53.20
				一般財源(単位:千円)		38.65	53.20	
	(2) 成果指標	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	0.00
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) が困難な場合		①	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00		
	達成度(%)		0.0	0.0				
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	0.00
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)		0.0	0.0					
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	0.00	
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
①	活動内容					目標		
	②	成果内容	「おおさか・すいたハウス」の運営に対する支援により、吹田市の地域医療の充実を図る。				達成状況	地域医療の充実
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		「おおさか・すいたハウス」は社会貢献度の極めて高い施設であり、遠隔地からの旅費・滞在費等利用者の負担を最小限にとどめるためには、運営に対する市の補助が不可欠である。					

事務事業分析シート

所属名	地域医療推進室	事業名	おおさか・すいたハウス支援事業	事業区分	その他
事務事業番号	00570				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	14	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	12	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 c. 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない。(1点)	1	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	74	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	地域医療推進室	事務事業番号	00570
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他												
(2)各視点からの評価結果	<table border="1"> <caption>各視点からの評価結果 (Radar Chart Data)</caption> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>評価結果 (点数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妥当性</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>持続可能性</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table>			視点	評価結果 (点数)	妥当性	15	有効性	10	効率性	10	公平性	10	持続可能性	10
視点	評価結果 (点数)														
妥当性	15														
有効性	10														
効率性	10														
公平性	10														
持続可能性	10														
(3)現状分析	<p>おおさか・すいたハウスは社会貢献度の極めて高い施設であり、利用者の負担を最小限にとどめるため、ボランティアの活用を図るなど事業の運営について努力している。 国立循環器病研究センターの医療技術を必要とする患者やその付き添い家族の滞在を支援することは、ナショナルセンターとして早急な循環器病の克服を目指す同センターの運営を間接的に支援することとなり、結果として本市の地域医療の充実につながる。</p>														

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	吹田市医療審議会運営事業				
担当部名	健康医療部	室課名	地域医療推進室	室課長名	山本 重喜

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和52年度	改正 内容	審議会の庶務担当の変更											
(2) 直近の改正	平成28年度													
(3) 根拠法令等	執行機関の附属機関に関する条例、吹田市医療審議会規則													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	06	細節	30							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	市民											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	市民が安心して医療を受けることができる地域医療体制の整備												
(7) 事業概要	救急その他医療関係諸問題についての重要事項を調査審議する													
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	04	項	01	目	01	大事業	03	中事業	01	小事業	01
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		293	173	183	137	183							
	人件費	職員数	人	0.40	0.40	0.70	0.50	0.50						
		総額(B)	千円	3,341	3,216	5,719	3,950	4,026						
	総事業費(A+B)		3,634	3,389	5,902	4,087	4,209							
	特定財源(C)		0	0	0	0	0							
	(内訳)	国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
	市負担(D)		3,634	3,389	5,902	4,087	4,209							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		3,634	3,389	5,902	4,087	4,209								
財源計(C+D)		3,634	3,389	5,902	4,087	4,209								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 審議会開催回数	目標値	(単位:回)	4.00	2.00	2.00	
			実績値	(単位:回)	2.00	2.00		
			達成度(%)		50.0	100.0		
	目標値の積算方法	予算上の開催回数(部会含む)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		1,694.50	2,111.00	
				一般財源(単位:千円)		1,694.50	2,111.00	
	②	指標内容 審議会延べ出席委員数(部会出席者含む)	目標値	(単位:人)	42.00	26.00	26.00	
			実績値	(単位:人)	23.00	22.00		
			達成度(%)		54.8	84.6		
目標値の積算方法	委員数×開催回数(委員数13人) 平成27年度のみ部会設置有り(部会委員数6人)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		147.35	191.91		
			一般財源(単位:千円)		147.35	191.91		
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
(3) が 困難な場合を示す	①	活動内容				目標		
	②	成果内容	審議会で審議することにより、市民が安心して医療を受けることができる地域医療体制を整備する。			達成状況	本市の医療サービスの向上	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		市民が健康で安心して暮らすことができるよう、迅速かつ適切な医療提供を可能とする地域医療体制の整備を図るうえで、本審議会の継続実施は必要である。					

事務事業分析シート

所属名	地域医療推進室	事業名	吹田市医療審議会運営事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00571				

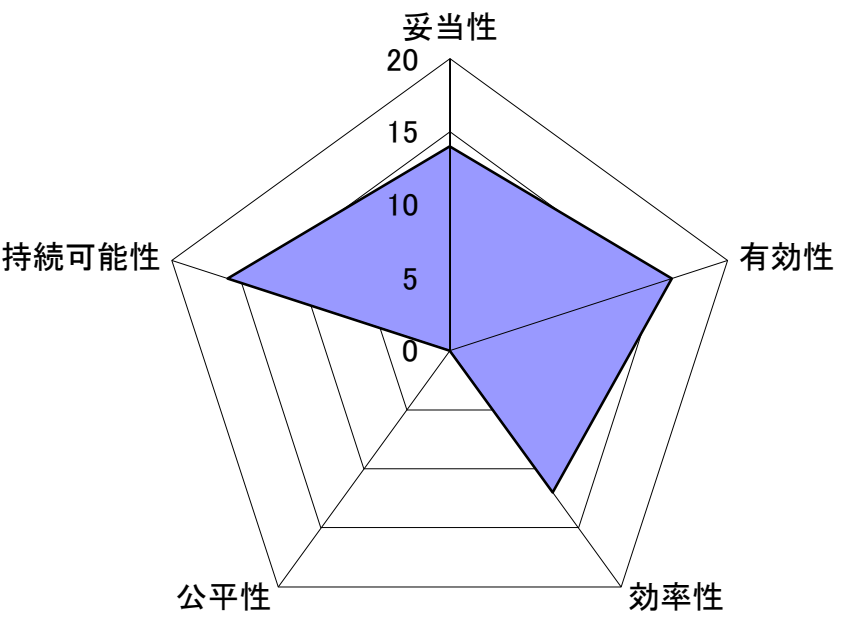
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
		b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	12	①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
		c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1	点
(4) 公平性 (20点)	0	④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
		c. 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない。(1点)	1	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		内部管理	点	
		②サービスの水準は適正ですか。		
		内部管理	点	
(5) 持続可能性 (20点)	16	③適正な受益者負担を求めていますか。		
		内部管理	点	
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
		内部管理	点	
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	72	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
		c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	地域医療推進室	事務事業番号	00571
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>救急医療をはじめとする地域医療体制の整備・充実を図るために、医療関係者や学識経験者等による専門的な意見をもらう貴重な場となっている。また、2025年問題を見据えた在宅医療等の地域医療体制の構築のためにも、当審議会の役割は重要である。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

平成26年に「医療介護総合確保推進法」が成立し、医療機能の分化・連携や在宅医療の推進により、高度急性期医療から在宅医療まで切れ目ない地域医療体制の構築の必要が示され、2025年(平成37年)の医療需要に対する必要な医療提供体制を整備する「地域医療構想」を都道府県が策定することとされた。なお、大阪府では、平成28年3月に大阪府地域医療構想を策定している。また、介護保険法においても、地域包括ケアシステムの推進を目的に、地域支援事業として在宅医療・介護連携推進事業の実施が位置づけられ、在宅医療の推進を中心とした地域医療体制の充実についての市町村の役割が明確化された。

事務事業評価調書

事務事業名	岸部診療所運営協議会運営事業				
担当部名	健康医療部	室課名	地域医療推進室	室課長名	山本 重喜

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成2年度	改正内容	平成28年4月1日の機構改革に伴う、所管課の名称及び委員構成の変更																	
(2) 直近の改正	平成28年度																			
(3) 根拠法令等	岸部診療所運営協議会設置要領																			
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部		<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)		<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)															
	一部にチェックした場合はその説明																			
(5) 総合計画の体系	章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	06	細節	30													
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他															
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	市民																	
	結果 (どのような効果が得られるのか)	安心して受診できる診療所の運営 市民の健康な暮らしを支える。																		
(7) 事業概要	岸部診療所の運営に関して必要な意見交換及び協議を行う。																			
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	04	項	01	目	01	大	事	業	03	中	事	業	02	小	事	業	01
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)													
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)													
	事業費(A)		86	43	86	1	86													
	人件費	職員数	人	0.10	0.10	0.40	0.10													
		総額(B)	千円	836	804	3,268	790													
	総事業費(A+B)		922	847	3,354	791	3,307													
	(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0													
		国		0	0	0	0													
		府		0	0	0	0													
		その他		0	0	0	0													
	(内訳)	市負担(D)		922	847	3,354	791	3,307												
		地方債		0	0	0	0													
		その他		0	0	0	0													
一般財源		922	847	3,354	791	3,307														
財源計(C+D)		922	847	3,354	791	3,307														
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施																			
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①																	
			②																	
			③																	
	主な委託内容																			
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①																		
		②																		
		③																		
<input type="checkbox"/> その他	内容																			

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	協議会開催回数	目標値	(単位:回)	1.00	1.00	0.00
			実績値	(単位:回)	1.00	0.00	
			達成度(%)		100.0	0.0	
	目標値の積算方法	予算上の開催回数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	847.00	0.00	0.00
				一般財源(単位:千円)	847.00	0.00	
			達成度(%)		46.2	0.0	
②	協議会委員延べ出席数	目標値	(単位:人)	13.00	11.00	0.00	
		実績値	(単位:人)	6.00	0.00		
		達成度(%)		46.2	0.0		
	目標値の積算方法	委員×予算における開催回数 委員11人	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	141.17	0.00	0.00
				一般財源(単位:千円)	141.17	0.00	
			達成度(%)		46.2	0.0	
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
		目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00
	一般財源(単位:千円)				0.00	0.00	
	達成度(%)			0.0	0.0		
	達成度(%)			0.0	0.0		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	0.00
	一般財源(単位:千円)			0.00	0.00		
(3) が困難な場合を示す	①	活動内容				目標	
	②	成果内容	岸部診療所運営協議会を開催し、岸部診療所の運営状況について意見交換及び協議を行う。			達成状況	安心して受診できる診療所の効果的かつ効率的な運営
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		岸部診療所については、平成27年3月末をもって運営を休止していたが、開設当時に比べて近隣の医療環境が充実してきたこと、北大阪健康医療都市(健都)2街区で整備予定の高齢者向けウェルネス住宅の機能の一つとして病児・病後児保育も実施されること等の理由により、今後、当診療所において市が診療機能等を確保する必要性はないと考えた。平成29年6月開催の岸部診療所運営協議会において、機能廃止に向けた手続を今後進めていくことを報告するとともに、本協議会解散についても了承を得た。				

事務事業分析シート

所属名	地域医療推進室	事業名	岸部診療所運営協議会運営事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00572				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	10	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 c. 実施意義は薄れてきている。(1点)	1	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 c. 市民ニーズは低下している。又は市民ニーズを把握できていない(1点)	1	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	67	※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	地域医療推進室	事務事業番号	00572
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他												
(2)各視点からの評価結果	<table border="1" style="display: none;"> <caption>Radar Chart Data</caption> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>評価結果 (推定)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妥当性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>持続可能性</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table>			視点	評価結果 (推定)	妥当性	10	有効性	15	効率性	10	公平性	10	持続可能性	10
視点	評価結果 (推定)														
妥当性	10														
有効性	15														
効率性	10														
公平性	10														
持続可能性	10														
(3)現状分析	<p>近年は当該地域に内科・小児科及び歯科が多数開設されており、診療所開設当時(昭和49年)に比べ医療環境は大きく改善している。 加えて、北大阪健康医療都市(健都)の駅前複合施設に医療モールが整備される予定であり、当該地域の医療提供体制はさらに充実する見込みである。</p>														

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	地方独立行政法人市立吹田市民病院評価委員会運営事業				
担当部名	健康医療部	室課名	地域医療推進室	室課長名	山本 重喜

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成25年度	改正 内容												
(2)	直近の改正	なし													
(3)	根拠法令等	地方独立行政法人法													
(4)	市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	06	細節	30							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
		範囲等	地方独立行政法人市立吹田市民病院												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	専門性及び実践的な知見を踏まえ、客観的かつ中立公正に法人の業務の実績に関する評価等を行う。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	地方独立行政法人市立吹田市民病院の業務の効率的・効果的な実施を実現する。													
(7)	事業概要	地方独立行政法人法の規定に基づき、設立団体である本市で評価委員会を設置し、専門性及び実践的な知見を踏まえ、客観的かつ中立公正に法人の業務の実績に関する評価等を行う。													
(8)	H28事業別 予算コード	会計	01	款	04	項	01	目	01	大事業	03	中事業	03	小事業	01
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		192	100	192	81	447							
		人件費	職員数	人	0.40	0.40	0.70	0.70	0.70						
			総額(B)	千円	3,341	3,216	5,719	5,530	5,637						
		総事業費(A+B)		3,533	3,316	5,911	5,611	6,084							
		特定財源(C)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
		市負担(D)		3,533	3,316	5,911	5,611	6,084							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
その他			0	0	0	0	0								
一般財源			3,533	3,316	5,911	5,611	6,084								
財源計(C+D)		3,533	3,316	5,911	5,611	6,084									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 評価委員会開催回数	目標値	(単位:回)	3.00	3.00	7.00	
			実績値	(単位:回)	2.00	2.00		
			達成度(%)		66.7	66.7		
	目標値の積算方法	予算上の開催回数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		1,658.00	2,900.00	
				一般財源(単位:千円)		1,658.00	2,900.00	
	②	指標内容 評価委員会延べ出席委員数	目標値	(単位:人)	21.00	21.00	49.00	
実績値			(単位:人)	11.00	11.00			
達成度(%)			52.4	52.4				
目標値の積算方法		委員数(7人)×開催回数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		301.45	527.27	
				一般財源(単位:千円)		301.45	527.27	
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
	一般財源(単位:千円)				0.00	0.00		
(3) が困難な場合を示す	①	活動内容				目標		
	②	成果内容	評価委員会で評価することにより、地方独立行政法人市立吹田市民病院が行う業務の公共性及び透明な業務運営を確保する。			達成状況	地方独立行政法人市立吹田市民病院の業務の効率的・効果的な実施を実現することによる地域医療体制の確保。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		地方独立行政法人市立吹田市民病院が、業務の公共性及び透明な業務運営を確保し、効率的・効果的な業務運営を実施するために、評価委員会で専門性及び実践的な知見を踏まえ、客観的かつ中立公正に同法人の業務の実績に関する評価等を行うことは必要である。					

事務事業分析シート

所属名	地域医療推進室	事業名	地方独立行政法人市立吹田市民病院評価委員会運営事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00573				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点		
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点		
(3) 効率性 (20点)	10	①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1	点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
c. 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない。(1点)	1	点		
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		内部管理		点
③適正な受益者負担を求めていますか。				
内部管理		点		
④公平性を確保するための取組みをしていますか。				
内部管理		点		
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点		
評価点合計 (100点満点)	75	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	地域医療推進室	事務事業番号	00573
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他												
(2)各視点からの評価結果	<table border="1" style="display: none;"> <caption>各視点からの評価結果 (Radar Chart Data)</caption> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>評価結果 (点数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妥当性</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>持続可能性</td> <td>15</td> </tr> </tbody> </table>			視点	評価結果 (点数)	妥当性	18	有効性	12	効率性	8	公平性	10	持続可能性	15
視点	評価結果 (点数)														
妥当性	18														
有効性	12														
効率性	8														
公平性	10														
持続可能性	15														
(3)現状分析	<p>地方独立行政法人の業務運営の仕組みは、設立団体の長が業務の目標を示したうえで、法人にその達成手段について広範囲な裁量権を与え、法人の責任と権限において業務を行わせ、事後的にその達成状況をチェックする「目標による管理」の考え方を根幹として構成されている。</p> <p>その中で、市民に安心安全で良質な医療を提供するためには、専門性及び実践的な知見を踏まえ、客観的かつ中立公正に法人の業務の実績に関する評価等を行う評価委員会の役割は大きいものである。</p>														

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	地方独立行政法人市立吹田市民病院運営費負担事業				
担当部名	健康医療部	室課名	地域医療推進室	室課長名	山本 重喜

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成26年度	改正 内容												
(2) 直近の改正	なし													
(3) 根拠法令等	地方独立行政法人法													
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり											
	節	06												
	細節	30												
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理 <input type="checkbox"/> 建設事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他											
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	地方独立行政法人市立吹田市民病院											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	地方独立行政法人市立吹田市民病院が将来に渡って継続的に公立病院の役割担い、市民に対して安心安全で良質な医療を提供する。												
(7) 事業概要	<p>地方独立行政法人市立吹田市民病院は、もともと採算をとることが困難であり、企業ベースにのらない活動でも公共的な必要があるという理由によって採算を無視しても実施しなければならない場合がある。そのような業務に要する経費については、料金によって受益者に負担させることが不相当であることから、地方独立行政法人法により設立団体で負担すべきことと規定されていることから、法人に対して政策医療や不採算医療等に係る運営費の一部を負担する。</p>													
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	04	項	01	目	01	大事業	05	中事業	01	小事業	01
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		838,692	838,692	808,817	808,817	803,422							
	人件費	職員数	人	38.40	36.90	0.40	0.50							
		総額(B)	千円	320,717	296,640	3,268	3,950							
	総事業費(A+B)		1,159,409	1,135,332	812,085	812,767	806,241							
	(内訳)	特定財源(C)		0	296,287	0	0							
		国		0	0	0	0							
		府		0	0	0	0							
	その他		0	296,287	0	0								
	(内訳)	市負担(D)		1,159,409	839,045	812,085	812,767							
		地方債		0	0	0	0							
		その他		0	0	0	0							
一般財源		1,159,409	839,045	812,085	812,767	806,241								
財源計(C+D)		1,159,409	1,135,332	812,085	812,767	806,241								
(10) (該当するものは全部チェック)	実施方法		<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施											
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
	主な委託内容		③											
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①											
②														
③														
<input type="checkbox"/> その他		内容												

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	地方独立行政法人市立吹田市民病院における救急搬送受入件数	目標値	(単位:件)	4,304.00	4,304.00	4,304.00
			実績値	(単位:件)	4,105.00	3,908.00	
			達成度(%)		95.4	90.8	
	目標値の積算方法	地方独立行政法人市立吹田市民病院の中期計画及び年度計画における目標指標	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	276.57	208.01	208.01
				一般財源(単位:千円)	204.40	208.01	
			達成度(%)		0.0	0.0	
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	0.00	
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0		0.0
(3) が困難な場合	①	活動内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	②	成果内容	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	0.00
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
(4) 総合評価	①	活動内容		目標			
	②	成果内容	政策医療をはじめとする地方独立行政法人市立吹田市民病院に求められる医療を安定的に継続して提供する。	達成状況	安定した経営基盤のもと、市民に対する安心安全で良質な医療の提供。		
		今後の方向性 (実施計画)	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
		評価の説明	市民が安心安全で良質な医療を受療することができる地域医療体制を整備するためには、政策医療や不採算医療等に係る運営費の一部を本市で負担することは引き続き必要である。また、市立病院の機能維持・向上を図り、持続可能な病院運営の実現のためには、患者の視点に立った運営、患者の信頼を得られるような安心安全な医療の提供、高度機器を用いた高度・先進医療の実行がなければ、経営状況の向上は図れず、市立病院の役割を将来に渡って、継続的に果たすことはできないものである。こうした中、より精度が高く、患者の身体への負担が少ない手術療法や侵襲性の低い治療へのニーズが急激に高まっており、高度でより質の高い医療を提供するためにダウインチを導入し、その運営費について拡充する。				

事務事業分析シート

所属名	地域医療推進室	事業名	地方独立行政法人市立吹田市民病院運営費負担事業	事業区分	その他
事務事業番号	00620				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討している。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	12	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 c. 事業費、市負担とも増大し、それに見合う財源の確保も見込めない。(1点)	1	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	86	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	地域医療推進室	事務事業番号	00620
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>地方独立行政法人法の規定により、①性質上、経営に伴う収入をもって充てることができない経費及び②性質上、能率的な経営をもってなおその経営に伴う収入のみをもって充てることが客観的に困難であると認められる経費は設立団体で負担すべきことと規定されていることから、同法人に対して政策医療や不採算医療等に係る運営費の一部を負担するものである。 本市が運営費の一部を負担することにより、政策医療をはじめとした同法人に求められる医療を安定的に継続して提供することができるものである。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	地方独立行政法人市立吹田市民病院貸付事業(病院事業債管理特別)				
担当部名	健康医療部	室課名	地域医療推進室	室課長名	山本 重善

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成26年度	改正 内容												
(2)	直近の改正	なし													
(3)	根拠法令等	地方独立行政法人法													
(4)	市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	06	細節	30							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	地方独立行政法人市立吹田市民病院												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	地方独立行政法人市立吹田市民病院に対して、新市民病院建替事業費及び医療機器更新費等の貸付を行う。												
(6)	結果 (どのような効果が得られるのか)	市民に対して安心安全で良質な医療の提供を行う。													
(7)	事業概要	地方独立行政法人市立吹田市民病院は、地方独立行政法人法の規定により、設立団体である本市からしか長期借入れを行うことができないため、本市から同法人へ新市民病院建替事業費及び医療機器更新費等に係る費用の貸付を行う。													
(8)	H28事業別 予算コード	会計	15	款	01	項	01	目	01	大事業	01	中事業	01	小事業	01
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		391,000	60,600	621,800	582,400	3,766,900							
		人件費	職員数	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
			総額(B)	千円	0	0	0	0	0						
		総事業費(A+B)		391,000	60,600	621,800	582,400	3,766,900							
		特定財源(C)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
		市負担(D)		391,000	60,600	621,800	582,400	3,766,900							
		(内訳)	地方債		391,000	60,600	621,800	0	3,766,900						
			その他		0	0	0	0	0						
一般財源			0	0	0	582,400	0								
財源計(C+D)		391,000	60,600	621,800	582,400	3,766,900									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	
実績値				(単位:)	0.00	0.00	
達成度(%)				0.0	0.0		
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) が 困難な場合を示す		①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00	
	達成度(%)			0.0	0.0		
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
		達成度(%)		0.0	0.0		
①	活動内容				目標		
	②	成果内容	地方独立行政法人市立吹田市民病院に対して適切な貸付を行う。			達成状況	地方独立行政法人市立吹田市民病院による新市民病院建設事業の実施。
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		地方独立行政法人市立吹田市民病院は、新病院建替事業費や医療機器更新費等での多額な費用の確保を長期借入れにより財源を確保するものであるが、地方独立行政法人法の規定により、長期借入れは設立団体である本市からのみ可能なものとなっていることから、起債により同法人に対して貸付を行うものである。法人が安定的な経営を図ることで、市民に対して安心安全で良質な医療を提供することができるものである。				

事務事業分析シート

所属名	地域医療推進室	事業名	地方独立行政法人市立吹田市民貸付事業(病院事業債管理特別)	事業区分	その他
事務事業番号	00621				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点		
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点		
(3) 効率性 (20点)	12	①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1	点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点		
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点		
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点		
(5) 持続可能性 (20点)	12	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。		
		b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点		
評価点合計 (100点満点)	82	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	地域医療推進室	事務事業番号	00621
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>地方独立行政法人市立吹田市民病院は、地方独立行政法人法の規定により、設立団体である本市からしか長期借入れを行うことができないため、本市から同法人へ新市民病院建替事業費や医療機器更新費等に係る費用の貸付を行うものである。それにより、法人の安定的な経営を図る効果がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	元金償還事業(病院事業債管理特別会計)				
担当部名	健康医療部	室課名	地域医療推進室	室課長名	山本 重喜

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成26年度	改正 内容												
(2)	直近の改正	なし													
(3)	根拠法令等	地方独立行政法人法													
(4)	市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	06	細節	30							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
		範囲等	病院事業債												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	長期債元金の適切な償還												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	地方独立行政法人市立吹田市民病院貸付事業等の適切な財政運営を行う。													
(7)	事業概要	地方独立行政法人市立吹田市民病院が地方独立行政法人に移行した際に市が承継した企業債及び地方独立行政法人市立吹田市民病院貸付事業に係る長期債借入により発生する元金償還について、同法人からの元金償還金を充てて償還する。													
(8)	H28事業別 予算コード	会計	15	款	02	項	01	目	01	大事業	01	中事業	01	小事業	01
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		241,760	241,759	223,098	223,098	120,383							
		人件費	職員数	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
			総額(B)	千円	0	0	0	0	0						
		総事業費(A+B)		241,760	241,759	223,098	223,098	120,383							
		特定財源(C)		241,760	241,759	223,098	0	120,383							
		(内訳)	国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		241,760	241,759	223,098	0	120,383						
		市負担(D)		0	0	0	223,098	0							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
一般財源			0	0	0	223,098	0								
財源計(C+D)		241,760	241,759	223,098	223,098	120,383									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
		目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
	一般財源(単位:千円)			0.00	0.00			
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00		/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00				
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
		目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
	一般財源(単位:千円)			0.00	0.00			
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00		/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00				
(3) が 困難な場合を示す	①	活動内容	地方独立行政法人市立吹田市民病院からの元金償還金を受けて償還を行う。		目標	長期債元金の適正な償還。		
	②	成果内容	地方独立行政法人市立吹田市民病院貸付事業等の適正な財政運営を図る。		達成状況	適正な元金の償還及び財政運営の確保。		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		地方独立行政法人市立吹田市民病院は、新病院建替事業費や医療機器更新費等での多額な費用の確保を長期借入れにより財源を確保するものであるが、地方独立行政法人法の規定により、長期借入れは設立団体である本市からのみ可能なものとなっていることから、起債により同法人に対して貸付を行うものである。法人が安定的な経営を図ることで、市民に対して安心安全で良質な医療を提供することができるものである。					

事務事業分析シート

所属名	地域医療推進室	事業名	元金償還事業(病院事業債管理特別会計)	事業区分	内部管理
事務事業番号	00622				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 c. 市民ニーズは低下している。又は市民ニーズを把握できていない(1点)	1	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	10	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 c. 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない。(1点)	1	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	12	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	70	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	地域医療推進室	事務事業番号	00622
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>地方独立行政法人市立吹田市民病院が地方独立行政法人に移行した際に市が承継した企業債及び地方独立行政法人市立吹田市民病院貸付事業に係る長期債借入により発生する元金償還について、同法人からの元金償還金を充てて、適切な償還を行っている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	長期債利子償還事業(病院事業債管理特別会計)				
担当部名	健康医療部	室課名	地域医療推進室	室課長名	山本 重喜

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成26年度	改正 内容												
(2)	直近の改正	なし													
(3)	根拠法令等	地方独立行政法人法													
(4)	市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部		<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)		<input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)									
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり		節	06	細節	30						
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
		範囲等	病院事業債												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	長期債利子の適切な償還												
(7)	事業概要	結果 (どのような効果が得られるのか)	地方独立行政法人市立吹田市民病院貸付事業等の適切な財政運営を行う。												
		地方独立行政法人市立吹田市民病院が地方独立行政法人に移行した際に市が承継した企業債及び地方独立行政法人市立吹田市民病院貸付事業に係る長期債借入により発生する利子償還について、同法人からの利子償還金を充てて償還する。													
(8)	H28事業別 予算コード	会計	15	款	02	項	01	目	02	大事業	01	中事業	01	小事業	01
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		70,541	70,112	67,397	66,735	74,525							
		人件費	職員数	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
			総額(B)	千円	0	0	0	0	0						
		総事業費(A+B)		70,541	70,112	67,397	66,735	74,525							
		特定財源(C)		70,541	70,112	67,397	0	74,525							
		(内訳)	国	0	0	0	0	0							
			府	0	0	0	0	0							
			その他	70,541	70,112	67,397	0	74,525							
		市負担(D)		0	0	0	66,735	0							
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
			その他	0	0	0	0	0							
一般財源	0		0	0	66,735	0									
財源計(C+D)		70,541	70,112	67,397	66,735	74,525									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
		<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①											
②															
③															
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が 困難な場合を示す	①	活動内容	地方独立行政法人市立吹田市民病院からの利子返済を受けて償還を行う。		目標	長期債利子の適正な償還。	
	②	成果内容	地方独立行政法人市立吹田市民病院貸付事業等の適正な財政運営を図る。		達成状況	適正な利子の償還及び財政運営の確保。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		地方独立行政法人市立吹田市民病院は、新病院建替事業費や医療機器更新費等での多額な費用の確保を長期借入れにより財源を確保するものであるが、地方独立行政法人法の規定により、長期借入れは設立団体である本市からのみ可能なものとなっていることから、起債により同法人に対して貸付を行うものである。法人が安定的な経営を図ることで、市民に対して安心安全で良質な医療を提供することができるものである。				

事務事業分析シート

所属名	地域医療推進室	事業名	長期債利子償還事業(病院事業債管理特別会計)	事業区分	内部管理
事務事業番号	00623				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 c. 市民ニーズは低下している。又は市民ニーズを把握できていない(1点)	1	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	10	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 c. 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない。(1点)	1	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	12	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	70	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	地域医療推進室	事務事業番号	00623
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>地方独立行政法人市立吹田市民病院が地方独立行政法人に移行した際に市が承継した企業債及び地方独立行政法人市立吹田市民病院貸付事業に係る長期債借入により発生する利子償還について、同法人からの利子償還金を充てて、適切な償還を行っている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	地方独立行政法人市立吹田市民病院整備補助事業				
担当部名	健康医療部	室課名	地域医療推進室	室課長名	山本 重喜

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成28年度	改正 内容												
(2) 直近の改正	なし													
(3) 根拠法令等	地方独立行政法人市立吹田市民病院整備事業補助金交付要領													
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input checked="" type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明		上限の設定された国庫補助金の受領有											
(5) 総合計画の体系	章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり											
			節	06	細節	30								
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	地方独立行政法人市立吹田市民病院											
	目標 (どういう状態にしたいのか)	国庫補助金の上限額を受領し、新市民病院建替事業に係る財源確保を図る。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	本市及び地方独立行政法人市立吹田市民病院の費用負担の軽減。												
(7) 事業概要	地方都市リノベーション事業の都市再生整備計画において基幹事業に定められた地方都市リノベーション推進施設である(仮称)吹田市新市民病院建替事業費に対する補助を行う。													
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	04	項	01	目	01	大事業	06	中事業	01	小事業	01
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		0	0	255,442	255,442	801,190							
	人件費	職員数	人	0.00	0.00	0.40	0.50	0.35						
		総額(B)	千円	0	0	3,268	3,950	2,819						
	総事業費(A+B)		0	0	258,710	259,392	804,009							
	特定財源(C)		0	0	127,721	127,721	400,595							
	(内訳)	国		0	0	127,721	127,721	400,595						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
	市負担(D)		0	0	130,989	131,671	403,414							
	(内訳)	地方債		0	0	114,900	114,900	360,500						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		0	0	16,089	16,771	42,914								
財源計(C+D)		0	0	258,710	259,392	804,009								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)		
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/		
			実績値	(単位:)	0.00	0.00			
			達成度(%)		0.0	0.0			
		目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
	一般財源(単位:千円)			0.00	0.00				
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00		/	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00			
			達成度(%)		0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00				
	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00					
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/		
			実績値	(単位:)	0.00	0.00			
			達成度(%)		0.0	0.0			
		目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
	一般財源(単位:千円)			0.00	0.00				
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00		/	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00			
			達成度(%)		0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00				
	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00					
(3) が困難な場合を示す	①	活動内容	国庫補助金の上限額7億円が受領できるよう国への要望を行う。			目標	国庫補助金の上限額7億円を受領する。		
	②	成果内容	本市及び地方独立行政法人市立吹田市民病院の費用負担の軽減を図る。			達成状況	新市民病院建替事業に係る財源の確保。		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定		
	評価の説明		国庫補助金の受領は平成28年度から平成30年度の3年間で最大7億円となっており、平成28から平成29年度の2年間で上限額の7億円を受領できる見込みのため、本事業は平成29年度末をもって廃止する予定である。						

事務事業分析シート

所属名	地域医療推進室	事業名	地方独立行政法人市立吹田市民病院整備補助事業	事業区分	その他
事務事業番号	01650				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	14	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	86	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	地域医療推進室	事務事業番号	01650
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>新市民病院建替事業に係る財源確保と本市及び地方独立行政法人市立吹田市民病院の費用負担の軽減を図ることができている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	豊能二次医療圏救急医療対策事業				
担当部名	健康医療部	室課名	地域医療推進室	室課長名	山本 重喜

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成12年度	改正内容	病院群輪番制病院運営事業補助金に対する府補助金が廃止された。											
(2) 直近の改正	平成17年度													
(3) 根拠法令等	豊能地域救急医療対策事業実施に関する覚書、豊能地域救急医療対策事業補助実施要項(豊中市)													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	06	細節	30							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	豊能地域救急医療圏に属する二次医療救急機関											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	二次救急病院の健全な運営 地域における救急医療体制の確保												
(7) 事業概要	豊能地域救急医療圏に属する吹田市、豊中市、池田市、箕面市、豊能町、能勢町の4市2町が共同で救急医療対策事業を実施し、二次救急病院の運営に対して補助を行う。その負担金を4市2町が分担している。													
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	04	項	01	目	01	大事業	07	中事業	01	小事業	01
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		14,540	14,554	14,578	14,574	14,659							
	人件費	職員数	人	0.05	0.05	0.10	0.15							
		総額(B)	千円	418	402	818	1,186							
	総事業費(A+B)		14,958	14,956	15,396	15,760	15,465							
	(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0							
		国		0	0	0	0							
		府		0	0	0	0							
	その他		0	0	0	0								
	(内訳)	市負担(D)		14,958	14,956	15,396	15,760	15,465						
		地方債		0	0	0	0							
		その他		0	0	0	0							
一般財源		14,958	14,956	15,396	15,760	15,465								
財源計(C+D)		14,958	14,956	15,396	15,760	15,465								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①	豊中市(4市2町取りまとめ)										
			②											
③														
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容	休日、夜間等において、初期救急医療機関では対応できない入院治療を必要とする救急患者の受入			目標	左記患者の円滑な受入
	②	成果内容	救急傷病者に対する医療の確保			達成状況	救急傷病者に対する医療の確保
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		平日の夜間、日曜、祝日、年末年始に入院を必要とする重症救急患者の受入体制を整備することは、市民の安心安全なくらしに直結することであり、必須の事業である。				

事務事業分析シート

所属名	地域医療推進室	事業名	豊能二次医療圏救急医療対策事業	事業区分	その他
事務事業番号	01651				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 c. 市民ニーズは低下している。又は市民ニーズを把握できていない(1点)	1	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 c. 具体的な成果があまりない状況である。(1点)	1	点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 c. 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない。(1点)	1	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	82	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	地域医療推進室	事務事業番号	01651
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>初期救急医療機関や救急患者の搬送機関等との円滑な連携体制のもとに、休日、夜間等における入院を必要とする重症救急患者を、豊能医療圏内の二次救急病院が共同連帯(輪番制方式)して受け入れる体制の整備を支援することにより、救急医療体制が維持されている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	豊能広域こども急病センター事業				
担当部名	健康医療部	室課名	地域医療推進室	室課長名	山本 重喜

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成16年度	改正内容	なし											
(2) 直近の改正	なし													
(3) 根拠法令等	豊能広域こども急病センター管理運営費負担金協定書													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	03 健康で安心して暮らせるまちづくり	節	06	細節	30								
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	豊能広域こども急病センター											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	広域医療圏における一次救急と二次救急の機能分担を図ることにより小児科医の不足を補い、より充実した救急医療体制を確保する。 機能分担により二次救急医療機関においては本来の二次救急に専念し、高度な医療サービスの提供が可能となる。また、結果として小児科医師に対する過度な負担の軽減にもつながる。												
(7) 事業概要	豊能地域救急医療圏に属する吹田市、豊中市、池田市、箕面市、豊能町、能勢町の4市2町が共同で設立した「豊能広域こども急病センター」の運営費赤字分に対する負担金。同センターは平日の夜間、土曜午後以降、日曜、祝日、年末年始の一般的に診療所が診療を行っていない時間帯について診療を行い、市民病院等の二次救急医療機関の負担を軽減し、機能分担により小児救急の医療提供体制の充実を図っている。													
(8) H28事業別予算コード	会計	01	款	04	項	01	目	01	大事業	08	中事業	01	小事業	01
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		22,220	17,474	21,908	21,293	22,785							
	人件費	職員数	人	0.05	0.05	0.10	0.15	0.10						
		総額(B)	千円	418	402	818	1,186	806						
	総事業費(A+B)		22,638	17,876	22,726	22,479	23,591							
	特定財源(C)		0	0	0	0	0							
	(内訳)	国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
	市負担(D)		22,638	17,876	22,726	22,479	23,591							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		22,638	17,876	22,726	22,479	23,591								
財源計(C+D)		22,638	17,876	22,726	22,479	23,591								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①	一般財団法人箕面市医療保健センター										
②														
③														
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
		達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	
実績値				(単位:)	0.00	0.00	
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) が困難な場合を示す		①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00	
	達成度(%)		0.0	0.0			
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
		達成度(%)		0.0	0.0		
①	活動内容	夜間・休日等、一般的に診療所が診療を行っていない時間帯における小児救急患者の受入			目標	左記患者の円滑な受入	
		②	成果内容	二次救急医療機関の負担を軽減し、機能分担による高度で充実した小児救急医療体制の確保			達成状況
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)			<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止
	評価の説明		平日の夜間、土曜午後以降、日曜、祝日、年末年始の一般的に診療所が診療を行っていない時間帯について診療を行うことにより、広域医療圏における一次救急と二次救急の機能分担を図り、小児科医の不足を補うとともに、小児科医への負担軽減につながっている。				

事務事業分析シート

所属名	地域医療推進室	事業名	豊能広域こども急病センター事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	01652				

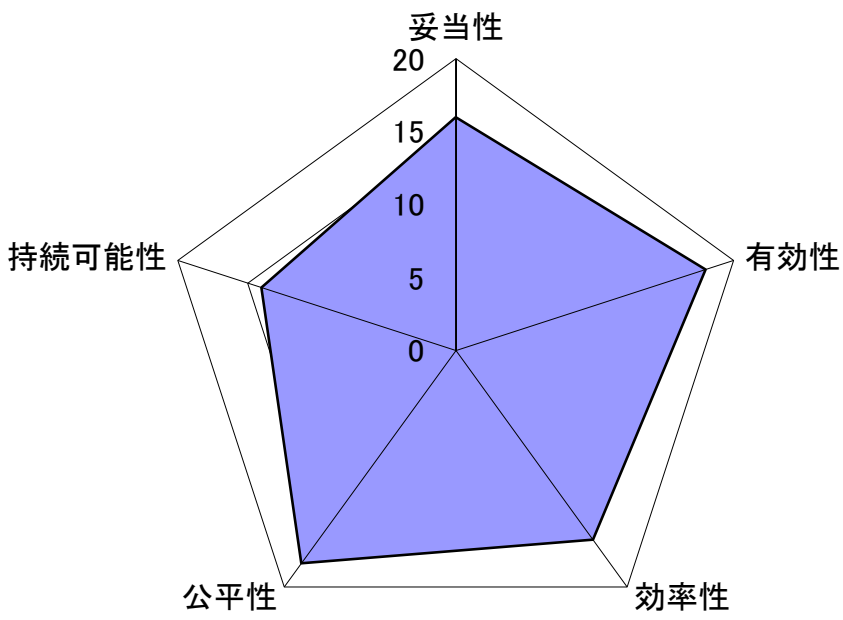
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 c. 市民ニーズは低下している。又は市民ニーズを把握できていない(1点)	1	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	82	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	地域医療推進室	事務事業番号	01652
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>小児救急医療を維持するため、同センターに時間外の小児救急診療を集約し、トリアージ機能を持たせることによって、市民病院等の二次救急医療機関における小児科は、夜間・休日も入院患者の診療に集中することができるようになり、より良い環境で適切な医療の提供ができるようになっている。 また、平成23年度から、深夜帯の看護師数や警備・清掃業務委託等について見直しを行うなど、積極的な経営改善に取り組んでいる。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	地域医療推進事業				
担当部署	健康医療部	室課名	地域医療推進室	室課長名	山本 重喜

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成26年度	改正内容	なし				
(2) 直近の改正	なし						
(3) 根拠法令等	なし						
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)				
	一部にチェックした場合はその説明						
(5) 総合計画の体系	章 03	健康で安心して暮らせるまちづくり	節 06	細節 30			
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他		
	範囲等	市民、医療関係者、企業関係者など					
	目標 (どういう状態にしたいのか)	北大阪健康医療都市を中心とした健康・医療のまちづくりを推進する。					
	結果 (どのような効果が得られるのか)	市民の健康寿命の延伸 健康寿命が延伸した高齢者の生きがいづくりと地域の活性化					
(7) 事業概要	北大阪健康医療都市を中心とした健康・医療のまちづくりを推進するために「北大阪健康医療都市を中心とした健康・医療のまちづくり会議」を開催し、関係機関相互の連携等についての検討や、健康・医療のまちづくりの取組みについての情報共有及び情報発信を行う。また、地域医療推進懇談会を開催し、今後の地域医療の在り方、地域医療推進の環境づくりやかかりつけ医等の定着促進等について検討を進める。						
(8) H28事業別予算コード	会計 01	款 04	項 01	目 01	大事業 10	中事業 01	小事業 01
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)
	事業費(A)		2,877	2,026	5,327	3,457	2,748
	人件費	職員数	2.00	2.00	3.00	2.50	2.50
		人					
	総額(B)		16,704	16,078	24,510	19,750	20,130
	総事業費(A+B)		19,581	18,104	29,837	23,207	22,878
	特定財源(C)		409	458	457	456	457
	(内訳)	国	0	0	0	0	0
		府	0	0	0	0	0
		その他	409	458	457	456	457
	市負担(D)		19,172	17,646	29,380	22,751	22,421
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源		19,172	17,646	29,380	22,751	22,421	
財源計(C+D)		19,581	18,104	29,837	23,207	22,878	
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施						
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	シーレイシステム株式会社			
			②				
			③				
	主な委託内容		ポータルサイトの保守等				
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①				
②							
③							
<input type="checkbox"/> その他	内容						

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 北大阪健康医療都市を中心とした健康・医療のまちづくり会議等の開催回数	目標値	(単位:回)	6.00	4.00	4.00
			実績値	(単位:回)	4.00	3.00	
			達成度(%)		66.7	75.0	
	目標値の積算方法	予算上の開催回数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	4,526.00	1,152.33	
				一般財源(単位:千円)	4,411.50	1,000.33	
			達成度(%)		100.0	100.0	
②	指標内容 地域医療推進懇談会の開催回数(作業部会の回数含む)	目標値	(単位:回)	1.00	4.00	6.00	
		実績値	(単位:回)	1.00	4.00		
		達成度(%)		100.0	100.0		
	目標値の積算方法	予算上の開催回数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	18,104.00	864.25	
				一般財源(単位:千円)	17,646.00	750.25	
			達成度(%)		100.0	100.0	
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
		実績値	(単位:)	0.00	0.00		
		達成度(%)		0.0	0.0		
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
		達成度(%)		0.0	0.0		
(3) が困難な場合を示す	①	活動内容		目標			
	②	成果内容	北大阪健康都市を中心とした健康・医療のまちづくりの推進のため、関係機関相互の連携等についての検討や情報発信。 在宅医療推進の環境づくり等について医療関係者等で議論。	達成状況	まちづくり会議を3回開催し、議論の内容をポータルサイトで発信。在宅医療推進の環境づくり等の対策の方向性を確認。		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input checked="" type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		<p>「北大阪健康医療都市を中心とした健康・医療のまちづくり会議」を開催し、民間事業者を含めた関係機関の情報共有や、連携方法等の検討を行っている。今後も健康・医療のまちづくりを一体的に進めていくにあたっては、継続的な会議の開催が必要である。また、様々な主体が共通のプラットフォームで情報を発信するツールであるポータルサイトについては、掲載情報を充実を図るとともに、閲覧者の探したい情報が簡単に見つかるように、サイトの構成等について見直しを行う。</p> <p>地域医療推進懇談会については、2025年の医療需要に対する必要な医療提供体制のために、地域医療の在り方や、在宅医療推進の環境づくり、かかりつけ医等の定着促進について、医療関係者や関係行政機関から意見をいただける場となっている。今年度は、本懇談会に作業部会を設置し、急変時入院の受け入れ等に関する課題抽出と対策の検討を行った。次年度以降も引き続き、在宅医療推進の環境づくりに向けた議論を継続しつつ、懇談会や作業部会で出された意見を踏まえ、市民や医療関係者への啓発等を行う。</p>				

事務事業分析シート

所属名	地域医療推進室	事業名	地域医療推進事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	01653				

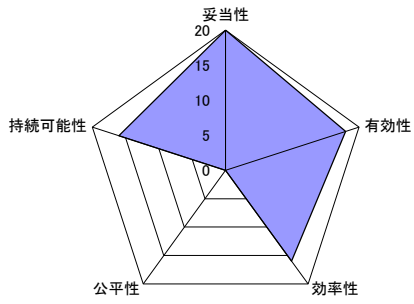
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討している。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	87	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	地域医療推進室	事務事業番号	01653
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果	 <p>The radar chart displays five dimensions: 妥当性 (top), 有効性 (right), 効率性 (bottom-right), 公平性 (bottom-left), and 持続可能性 (left). The scale ranges from 0 to 20. The scores are approximately: 妥当性: 18, 有効性: 15, 効率性: 10, 公平性: 5, 持続可能性: 10.</p>		
(3)現状分析	<p>北大阪健康医療都市を中心とした健康・医療のまちづくりを推進するために、「北大阪健康医療都市を中心とした健康・医療のまちづくり会議」を開催し、関係機関の情報共有や、連携等を検討する役割を果たしている。</p> <p>地域医療推進懇談会については、吹田市在宅医療・介護連携推進協議会と連携しながら、在宅医療推進の環境づくりや、かかりつけ医等の定着促進に向けた対策を議論する場として、今後も継続した開催が必要である。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	健都ウェルネス住宅推進事業				
担当部名	健康医療部	室課名	地域医療推進室	室課長名	山本 重喜

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成27年度	改正 内容	なし					
(2)	直近の改正	なし							
(3)	根拠法令等	なし							
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)					
		一部にチェックした場合はその説明							
(5)	総合計画の体系	章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	02	細節	30	
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他			
		範囲等	健都2街区高齢者向けウェルネス住宅						
		目標 (どういう状態にしたいのか)	健都2街区高齢者向けウェルネス住宅の整備・運営						
(7)	事業概要	結果 (どのような効果が得られるのか)	同住宅の整備・運営を通じ、地域の医療・介護・福祉の向上を図る。						
		<p>健都2街区高齢者向けウェルネス住宅は、居住するすべての人が、できる限り健康の保持増進に努め、生きがいを持ち、自分らしく、安心安全で豊かな生活を送ることができるという基本的な考え方をプラットフォームに据え、</p> <p>①生活習慣病予防や介護予防を特に意識したウェルネス機能 ②地域包括ケアシステム機能 ③健都内外の関係機関等との連携による付加価値機能</p> <p>という3つの特徴を持つ住宅環境のモデルケースとして、その整備を目指す。</p>							
(8)	H28事業別 予算コード	会計	款	項	目	大事業	中事業	小事業	
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)	
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)	
		事業費(A)		538,504	496,617	67	49	498	
		人件費	職員数	人	0.00	0.60	0.20	0.20	1.00
			総額(B)	千円	0	4,824	1,634	1,580	8,052
		総事業費(A+B)		538,504	501,441	1,701	1,629	8,550	
		特定財源(C)		0	0	0	0	0	
		(内訳)	国	0	0	0	0	0	
			府	0	0	0	0	0	
			その他	0	0	0	0	0	
		市負担(D)		538,504	501,441	1,701	1,629	8,550	
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0	
その他	0		0	0	0	0			
一般財源	538,504		501,441	1,701	1,629	8,550			
財源計(C+D)		538,504	501,441	1,701	1,629	8,550			
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施							
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①					
				②					
				③					
		主な委託内容							
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①							
		②							
		③							
<input type="checkbox"/> その他	内容								

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が 困難な場合を示す	①	活動内容	民間事業者と一般定期借地権設定契約を締結し、住宅用地の貸付を行う。			目標	高齢者向けウェルネス住宅の整備・運営
	②	成果内容	事業者による整備・運営を市がモニタリングすることによって、事業活動の継続性・安定性の確保を図る。			達成状況	地域包括ケアシステムの具現化等地域の医療・介護・福祉の質の向上により、住民がその価値を最大限享受できる環境が整備される。
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		<p>本事業は、政策課題(mission24)「1福祉と医療」に関連する事業であり、かつ吹田市まち・ひと・しごと創生総合戦略の「基本目標4基本的方向(1)健康・医療のまちづくりによる健康寿命の延伸」にも位置付けられる事業である。</p> <p>高齢者向けウェルネス住宅の平成30年度(2018年度)の開設に向けて、事業者の選定等その整備を進めることはもちろん、整備後についても市の事業者に対する継続的なモニタリング実施により事業の安定性を確保することで、地域全体の医療・介護・福祉の向上を図ることが必要と考える。</p>				

事務事業分析シート

所属名	地域医療推進室	事業名	健都ウェルネス住宅推進事業	事業区分	その他
事務事業番号	01666				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点		
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	92	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	地域医療推進室	事務事業番号	01666
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

本事業は今後事業者による整備・運営を通じ、地域包括ケアシステムの具現化等、地域の医療・介護・福祉の向上につながる具体的な成果が表れるものとする。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>生活習慣病予防や介護予防機能に重点をおいた「高齢者向けウェルネス住宅」の整備・運営は、政策課題(mission24)における「福祉と医療」に関連する事業であり、主要な政策課題に位置付けられるものである。 また、吹田市まち・ひと・しごと創生総合戦略における基本目標「誰もが安心して暮らせる「幸齢社会」が実現するまち」を達成するための施策「生涯活躍のまち」(健都版CCRC)の取組としても位置付けられているものである。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

【平成29年度から所管及び予算費目を変更】
平成28年度
高齢福祉室所管、予算費目(款)民生費(項)社会福祉費(目)社会福祉総務費
平成29年度
地域医療推進室所管、予算費目(款)衛生費(項)保健衛生費(目)保健衛生総務費